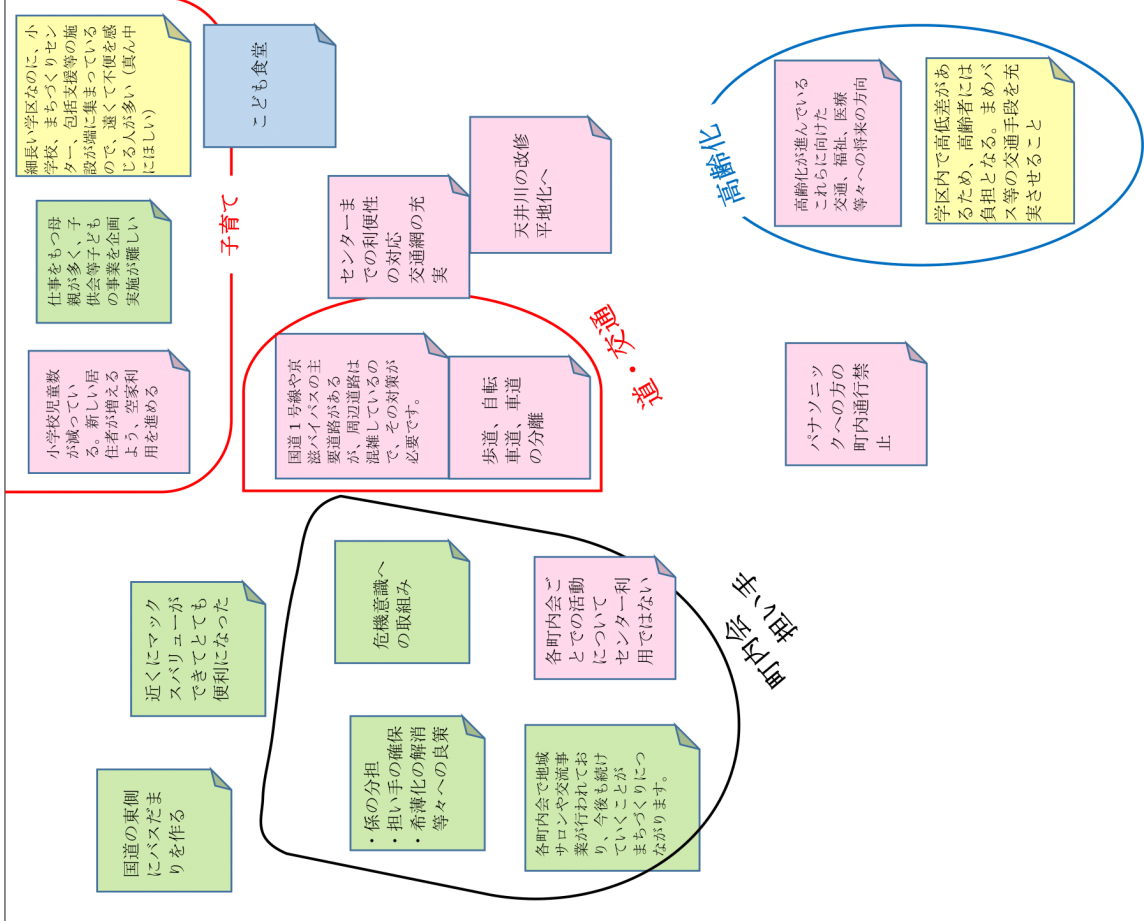
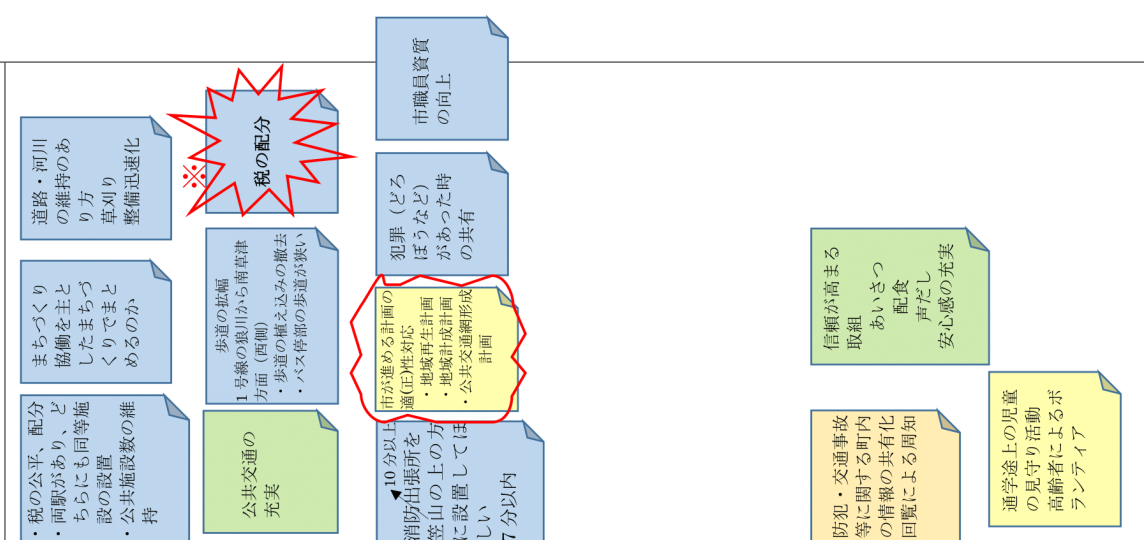


地域の課題



課題解決の方向性



6 高穂中学校校区

1 実施概要

日 時	令和元年8月3日(土)午前10時～
場 所	草津市立教育研究所 研修室
参 加	高穂中学校校区 ○志津学区 参加者：8名 ワークショップ：Aグループ、Bグループ ○志津南学区 参加者：5名 ワークショップ：Cグループ、Dグループ ○矢倉学区 参加者：8名 ワークショップ：Eグループ、Fグループ
次 第	(1) 開会 (2) 草津市の総合計画について (3) ワークショップ (4) 閉会

2 議 事

(1) 開 会

- 課長あいさつ

(2) 草津市の総合計画について

- 資料に基づき説明

【質疑応答】

質問、御意見等はありませんでした。

(3) ワークショップ

- 草津市の特性と課題、これからの取組の方向をつくり上げていくために、「伸ばすところ」、「変えたいところ」、「進めたいこと」、「行政がやること」、「地域でできること」についてグループごとに話し合い、導き出していただきました。

①意見概要

グループ	概要
A + B	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、自然・歴史。向こう三軒のような地域住民の交流。防犯に関しても地域として頑張っている。 ・変えたいところは、草津市全般として、YMITアリーナが、スポーツだけになっていて、音楽やコンベンションができて、もっと収益性が上がったり、市民のためのホールに転換できないか。まち協に関して、事業屋になってしまっているのではないか、本来プラットホームであるべきなので、やっている人が疲弊するのではないか。公共設備に関しては、まちセンターの建設遅れ、運動公園の話はどこに行ったのかという状態なのでその整備を進めていただきたい。主要幹線が通っていることで、道路の整備に関しては、ずっとお願いし続けていることですが、子どもたちが増え、高齢者が通る中で、安全・安心な暮らしのまちづくりのためには、交通整備は欠かせないことでこれを進めたい。住民交流があり中でも、新しい住民が来られる中で、新旧の住民の関わりに、隔たりがあるのではないか、交流を進めていかなければならない。道路と共に、河川の整備は、地域ではなかなか難しいところ、こちらの方も引き続き進めていただきたい。いきなりいろいろな誘致が進む中で、まちが変化していく、誘致に関しても地域を巻き込んだ検討をお願いしたい。 ・進めたいことは、先程のYMITアリーナ、公共設備や民間業者、飲食関連を含めてコンベンションホールのような形にすることで収益性が上がって、市民に負担が来ない様な設備になるのではないか。大胆な意見としては、クリアホールを県に返して金をもらえないか。まちづくりに参画して良かったといえるまち協づくりをしたい、そのためには自分たちの考えを活かして進めていきたい。自然がある中で、この自然を生かしながら子どもたちの公園であるとか、高齢者とか、子どもたちが交流できるようなスペースも進めていかなければならない。高齢者の見守りや子どもたちの見守り、安全・安心で暮らしていけるまちづくりが、まちづくり計画の頭にあることですし、そのことをこれからも進めていきたい。 ・行政のやることは、行政がやることが多いのは、地域でできることはやっているからで、道路整備、河川の整備を、自然を生かしながら安全・安心を、子どもたちの通学の状況とかを見てほしい。あれを見て、何が安全・安心なのかを考えてほしい。約束した施設は作ってほしい。必要だからお願いしている。皆できると思っています。住民主体のまち協の改革を行政と共にしていかなければいけない。地域まちづくり計画、ただ事をこなすのではなく、未来につながるような住民主体のまち協の改革が必要ではないか。地域で福祉活動を進める中で、助成を進めていただかないと、なかなか思うような活動ができない。巡回投票所があるとちょっと投票率が上が

	<p>るのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、地域住民の声を聴きながら進めていかなければいけませんし、そういうことで、地域のイベントもやるべき・残すべきこと、整理すべきことを見ていかなければいけない。増えている高齢者や子ども達の居場所づくりを考えていかなければいけない。マンモス校になる中で、通学路がかなり遠かったりするので、地域でできることがあれば検討したいですし、行政にも検討いただきたい。
C + D	<ul style="list-style-type: none"> ・伸ばすところは、地域自治、草津市は、他市に比べ交付金等支援が3倍位ある。これを落とさないように、税収が減っても落とさないように。環境文化、滋賀県はPR不足。草津も琵琶湖があり、草津川跡地公園もあり、イベントも行わっているが、我々は草津川跡地公園が相当遠いので、イベントに関心ない。草津市民が基本的に魅力のあるイベント、そういったものを草津市として盛り上げていきたい。草津市の住民がそこに行かないと、他県までも広がらない。この辺も魅力あるものにしていかなければ。ボランティア活動が充実しているが、高齢化しており今後どうするのか。環境として、月に3～4回草刈、掃除を行っています。市の職員の教育が依然と比べ大変良くなったので進めてほしい。 ・変えたいところは、交通問題。かがやき通り、朝晩の渋滞、空いていれば5分が、40分かかかる。山手幹線早く開通してほしいが、開通するともっとかかる。5、60分かかかるのではないか。交通量も、今だいたい1日5,000台が5倍の25,000台トラックを中心に、旧1号線に抜ける道が無い。この辺については、市だけではできないと思いますが、県・国も含め検討いただかないと大変なことになる。草津は、急激に人口が増えているので、交通網・道路の整備が必要。文化についても、草津は、群馬県の温泉といわれるので、このPRをもっとやらなければいけない。行政と住民参加。1つは、市の各部署の連携が取れていない。町内会長のところには、いろいろな資料がくる、連携取っても良いのにといい資料がいっぱい来るので、町内会長大変だなという状態になる。市が連携しながら、特にまちづくり協働部が精査しながらやれば、もっと負担も減るのではないか。 ・進めたいことは、1つは、空き家の対策。空き家がどんどん増えている。そのメンテ等をボランティアの方が、お持ちの方と連絡をとり合いながら、庭の剪定等をしているが、そのままではいけないので、市の空き家対策として考えていかなければいけない。もう1つは渋滞。特に通学路、追分地区から志津南小に600人が一斉に来る。市長にも見ていただいて、対策を検討いただいております。事故の起こらないうちにぜひ検討していただきたい。更にもう一つは、新しいマンション住民の方の参加。セキュリティが掛かっていてなかなか（案内を）徹底し難い。もっと良い方法がないか。いろいろなイベントへ参加いただきながら一緒にやりたい。 ・行政のやることは、交通網の充実。市の縦割り組織見直し、まとめること

	<p>ろは一緒にまとめていただいといるところ。地縁に頼る事業、例えば青少年、従来から何十年も変わっていない、その辺をまとめながら、今に合った事業を市も考えながらやってほしい。それと当然ながら空き家対策。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でできることは、防災。これは地域できちんとやっていかなければいけない。10月に学区全体の防災フェス、第1回目をやろうと思っいています。まず参加してもらうことが重要。どちらかと言うと防災については、安全というよりも皆さん意識感覚がないので、防災については、きちんと意識を持ってもらうということ、今までできていなかったが、今年から防災のフェスを。楽しくないと来てくれないので、ある程度イベントも入れながら楽しくして、来ていただいて、防災意識を植え付けていく。高齢化による役員の見直し、役員のなり手がいない。新しい町内会は順番でやっておられますが、役やるなら、町内会辞めさせてという所も結構ある。この辺の見直しも地域としてはやっていかなければいけない。環境整備。これは、ボランティア中心にやっいてこう。
E	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなテーマとして、ハード面の話がある中で、実際ソフト面はどうかということ、進んでいきました。ハード面は、日頃の日常生活の便利さやいろいろな施設、草津市は、祭とか住んでいく中で非常に充実している、暮らしやすい、いろいろなものがある。一方で高齢化が進んでいる、若い人たちも入っているが、一人暮らしの世帯も増えているし高齢化も増えてきている。基本的には、暮らしやすい、災害が少ない一方で、ソフト面でどうかということ、自治会に入ってくれない、若い人たちとの交流、マンションの方との交流が少ないという話が出る中で、これは、10年後、20年後の草津市を見据えた話なのかなと思われる、孤独死の問題が出てきました。一人暮らしの方の孤独死に対して、個人情報関係や、プライバシー関係が壁になって、助けたいのも助けられないケースや、今後どんどん増えていった時の対応どうするかという話になっていきました。高齢者の増える一方で、見守りとかそういった話になりました。もう1つは、高齢者の方が増えていく、施設も便利でたくさんある、でも自分で車を運転できなくなる、行けているうちは良いが行けなくなったり近くにあってもいけない、行けるのならば便利という話になっていきました。 ・進めたいことは、当然、一人暮らしが増えていく中での見守りもあるが、もう少し気軽に身近なところで、施設とかいろいろなところで、ふれあいホールとか近くにあると言いつながら、なかなか身近なところで健康づくりとかできる場がないので整備していく必要があるのではないか。もう一つは、担い手の方。固定化していて、次の世代にバトンタッチする人がいない。 ・行政のやることは、大きな1つのテーマとして、一人暮らしの人たちへの対策を個々にニーズがあるのでしかりやってほしい。 ・地域でできることは、一人暮らし。見守りをやっいてかないといけない。

	<p>この辺は、協働で連携してやっていかなければいけない。孤独死の中で大きな問題は、プライバシーの問題、個人情報になるので、行政としては、例外的対応、法律とか制限のある中で、なかなか突っ込んでいけないところを、何とかこの辺のルール作り・仕組みづくりを、今後、10年、20年を見据えたらやっていかなければいけないのではないかな。空き家対策。持ち主の方がいらっしゃるので、なかなか手出しができないので、行政としてしっかりやっていかないといけないのではないかな。一人暮らしの見守りということで、孤独死がこのグループで大きく出ていましたので、孤独死を防ぐために、プライバシーの例外的な対応を十分してもらったら、突っ込んでいける。</p>
<p>F</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伸ばすところは、人口が増えているとか、若い人が多いとか活気あるまちづくりが草津市ではできている。さらに、まちづくりに関心のある人が多い。安全・安心面では、病院・医療機関が多い。地域性で、災害に強い、危ないところが少ない。身近な自然を残していく。東海道・中山道を活かしたまちづくり、自然文化を伸ばしていけば良いのではないかな。 ・ 変えたいところは、道路。1号線の片側1車線、渋滞が慢性的に発生している。信号の待ち時間等渋滞の問題。まめバスのルート、本数、公共のバスが減ってしまった等の公共交通機関に関する問題。高齢者の移動手段が無くなってきている。地域開発については、どんどん開発が進んでいるところがあって、特に下流の雨水対策ができていないところに開発が進む。身近な問題としては、志津小・高穂中のマンモス化。安全・安心の裏返しとして、危機管理の意識が薄い。外国人が増え暮らしをどういう風につながるのか。 ・ 進めたいことは、道路行政という括りでは、山手幹線を一日でも早く開通してもらえれば、市街地の渋滞が解消するだろう。利用しやすいまめバスのルート・本数増やす。小中学校の長期的な設置方針を決めていく。宿場の町を活かしたまちづくりとPR。地域福祉としては、高齢者のイベント、老人の憩いの場など福祉を充実していく。地域・町内会の一体化、地域のリーダー・ボランティアを育てていく等のまちづくり。防災の訓練、災害を想定した話し合い等の防災対策。 ・ 行政のやることは、道路。公共交通。都市開発、開発方針をどうするか。地域福祉。 ・ 地域でできることは、高齢者の居場所づくり、地域福祉。まちづくり。防災。

②参加者感想

- 普段、身近な事を考えがちだが、もう少し視野を広げて考えていかないと実感した。
- こういう機会をもっとすべきと思う!!
- センター新築、運動公園整備、草津川上流の利用、早期に!
- 有意義なワークショップであったと思うので、後は行政側に充分反映してもらいたい。
- 今日の意見を一つ一つ行政は実行してほしい。地域住民の声をもっと聞く機会を増やしてほしい。
- 今日の話合いの一日も早い実現をお願いしたい。
- ワークショップの話題を市が地域にしっかり説明してほしい。場所によって捉え方がまちまちだった。
- 実現困難な意見が多かったが、安心なまちづくりを目指したい。
- 他学区も交通問題が課題。解決策をよろしく。
- 多数の意見、いろんな角度からの視点、勉強になった。
- 他の人の考え方がわかって参考になった。行政にお願いした内容は必ず計画に入れてほしい。
- 視点、切り口が地域から見た市全体という所での提言に欠けた。
- いろんな話が思ったまま言えて有意義だった。
- 今回のワークショップの結果をまとめてほしい。それぞれの中学校区の結果もまとめて残してほしい。
- 自分の思っていたことが言えた。
- 話合いの結果を生かしてほしい。
- 地域の悩みが理解できる、良いワークショップだった。
- 初めて参加させてもらった。良い意見が多いので、是非、実現の程。
- いろいろ大変勉強になった。ありがとうございました。
- とても参考になった。

③まとめ

- 伸ばすところとして、まちに活気があり、学校・病院・駅が近く便利で、豊かな自然・古い歴史があり、災害も少ないことが挙げられています。
- 変えたいところとして、交通整備。道路の拡幅や、安全対策、交通手段の確保が挙げられています。それに加え、志津学区では、公共施設の整備やその活用、まち協のあり方について、志津南学区では、草津文化のPRについて、矢倉学区では、小中学校のマンモス化が挙げられました。
- 進めたいことは、新しい住民や若い世代の地域活動への参加、抜本的な交通対策、移動手段も含めた、住民の望む施設づくり。子ども、高齢者、ひとり暮らしの人たちの見守りが挙げられています。それに加え各学区変えたいところに挙げた項目が挙げられています。

○行政がやることは、運動公園は早く整備、市民の希望する声を聴いて早期に実現をしてほしいということ、志津の自然の保守整備、住民主体のまち協の改革（制度づくり）、金勝川、新草津川上流の平地化と利用を早期に進める、区間6の早期整備、中・小河川の保守、通学路の交通安全・防犯対策整備、道路整備などが挙がっていました。

その他としては、ひとり暮らしの人たちへの対策、プライバシーの例外的対応のルールづくり、各住民の声を町内会長を経由せず、直接声をきいてもらう機会、各地域にあった地域別総合計画の策定、空き家対策、交通網の充実、縦割り組織の見直しとともに地域でやることの精査、地域を活発にするためにも人材育成、地域福祉、地縁に頼る事業大幅縮小、都市開発、道路・公共交通、防災拡声器の改善などが挙がっていました。

○地域でできることは、住民の声をきき、まとめて、地域福祉活動、ひとり暮らしの人たちの見守りなどを行う。地域のイベントを行うなどが挙がっていました。

伸ばすところ

緑(自然)を残しつつ、開発の促進
 豊かな自然を守り育てるまち
 田草津川跡地の利活用の拡大
 自然歴史
 古い歴史
 田畑等残してほしい自然の育成
 自然の美しさを保つ

世代間の交流
 人が安心して住み続けられるまち
 子どもを守り活動
 まだ残っている向こう3軒両隣の風習
 地域住民の人の良さ

住民交流

子供高齢者サロンの増加
 防犯対策

サロン 防犯

交通アクセスの充実
 まめバスの再運行
 市営バスの運営(高齢者対策)
 公共交通の拡充
 交通の確保

アクセス

変えたいところ

YMITTアリーナ
 ↓
 スポーツだけでなく、コンベンション、音楽イベントができるものへ
 1000人程度の音楽堂の設立(くさつホール)
 YMITアリーナ
 市民が望むホールをつくる

まちづくり協議会を事業屋ではなくプラザットフオームへ
 まち協と町内会又別団体になるのか
 まち協と町内会を仲良くするか
 まち協 プラザットフオーム化

まち協のあり方
 役員への女性活動(増員)
 働き方改革(役員)
 地域活動にかかわる世代
 志津運動公園の建設
 県庁所在地の変更 大津→草津
 志津まちづくりセンターの早期政策
 公園の整備

公共施設の整備

団地内公園の廃止 まとめて公園大きく
 児童公園の充実
 自然(緑)の維持管理 手間をかける
 新しい市民会館の整備
 学校、幼稚施設と高齢者施設との一体開発
 天井川の平地化を早く

自然を生かす 地域のため

交通整備

子供の安全 通学路
 いわゆる(新)と(旧)の隔たりをなくす
 河川
 河川・水路を含めた排水路の改修
 金勝川、新草津川上流の河川汚染
 道路整備
 道路の整備
 道路の整備
 主要となる道路が少ない
 子供の安全 通学路
 いわゆる(新)と(旧)の隔たりをなくす

誘致

町内会の戸数の平準化
 表記の整備 ○丁目
 投票した人の減税やボイメントの付与
 商業施設の誘致場所の検討
 選挙の投票率UP

進めたいこと

音響設備・民間業者・飲食関連を含めてコンベンションホール化へすすめる
 クレアホールを県に返選
 音響のしつかりしたホール市民が使える施設の建設
 市民が望むホールをつくる

まちづくりに参画して良かったと言えらるまちづくり
 各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める

志津の人口はこれからは増加の一途をたどる
 ・子供の世代
 ・成年、働き世代
 ・高齢者世代
 を分けて対策を考へよう
 志津の人口はこれからは増加の一途をたどる
 ・子供の世代
 ・成年、働き世代
 ・高齢者世代
 を分けて対策を考へよう

各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める
 各町内の意見を求める

子どもも高齢者も安心して暮らせる見守り交流

通学路の検討 速い!!
 子どもの通学が非常に速い地域がある。かわいそう
 投票した人の減税やボイメントの付与
 商業施設の誘致場所の検討
 選挙の投票率UP

行政がやること

志津の自然の保守整備
 道路整備
 金勝川、新草津川上流の平地化、利用を早期に進める
 中・小河川の保守
 通学路の交通安全・防犯対策整備
 区間6の早期整備
 道路 河川 整備

約束の公共施設を実現してほしい
 市民の希望する声を聴いて早い実現を
 運動公園は早く建設
 志津の約束の施設早い実現

各町域にあった地域別総合計画の策定 全市では漠然とする
 住民主体のまち改革(制度づくり)
 住民主体のまち改革のまちな改革

地域でできること

各住民の声を町内会長を経由せず、直接声をきいてもらう機会
 地域でやるべきことが多い
 地域を活発にするためにも人材育成
 福祉活動への助成拡大

福祉活動 助成

巡回投票所
 投票所
 各町のふれあい祭
 ・各町の運動会
 ・高齢者の居場所づくり
 地域のイベント
 高齢者の居場所づくり

巡回 投票所

(A) (B)

